経済日誌2010年4月

注)1DH(ディルハム)=約11.5円

I. モロッコ国内経済

1. 指標等

①モロッコ中央銀行の2010年経済成長予測値¹

第1四半期金融政策報告書(Rapport sur la politique monétaire)によると、2010年の経済成長率は3~4%に落ち着く見込み(当館注:2009年確定値は5.3%)。

②モロッコ銀行全体の2009年業績²

モロッコ中央銀行総裁は2009年のモロッコ銀行全体の業績は好調であった旨発表。全体の利益が93億DHと前年比6%の増加。融資残高が前年比9%増。また、不良債権比率は5%程度となった。

2. 建設・公共事業・インフラ等

①ベルシッド-ベニメラル間高速道路建設工事開始³

12日、モロッコ中部ベルシッド(Berrechid)-ベニメラル(Béni Mellal)間の高速道路建設工事が開始された。全長172キロメートルで投資額は60.5億DH。建設費にはアラブ経済社会開発基金(FADES)、欧州投資銀行(BEI)、中国政府が出資。高速道路建設によってTadla-Azilal地域の農業、農産加工業、観光業の活性化が見込まれている。

他では、マラケシュ-アガディール間が2010年6月、フェズ-ウジダ間が2011年6月開通予定。2011年6月までに高速道路全長1417キロメートル、2015年までに1800キロメートルを目指す。

②タンジェ地中海港の2009年と2010年第1四半期の業績⁴

2009年の貨物取り扱いコンテナ数(TEU)は120万で稼働開始年の2008年より35%増加。2010年の第1四半期は407,844TEUと前年同期比で50%増加(2013年の年間取り扱い規模は300万TEUの見込み)。そのうち97%がトランジット分。モロッコからの輸出品およびモロッコへの輸入品を載せた貨物は11,326TEUであったが、前年同期比で22%増加している。

¹ ル・マタン(4月1日)、モロッコ中央銀行www.bkam.ma、(Rapport sur la politique monétaire)

² エコノマップ(4月1日)

³ エコノマップ(4月13日)

⁴ エコノマップ(4月15日)、エコノミスト(4月16日)

また、タンジェ地中海港特別庁(TMSA)の2010年第1四半期の売上高は1億280万DHと前年同期比で37%増加したと発表。

③タンジェ港からタンジェ地中海港へ海運業務の移管⁵

22日、アラブ・マグリブ運輸大臣は、5月よりタンジェ港からタンジェ地中海港へと海運業務を徐々に移管していくと発表。5月17日からは対岸アルジェジラスからのフェリーの運航もタンジェ港ではなくタンジェ地中海港に移管する予定。Sète, バルセロナ、Gênes からの便は10月頃を目処に移管、物流全体も10月を目処に完全移管。

④大規模地中海リゾート建設計画⁶

モロッコ政府はナドール(Nador)で「MarchicaMed 計画」という観光リゾート建設に着手する。総面積は4000ヘクタールで開発は同じ名前の公的機関「MarchicaMed」に委託。資本金は5億DHで、うち政府とハッサン2世基金が半々で出資。同計画は7カ所の開発地にベッド数101,200床、高級住宅1000戸、ヨットハーバー6カ所などを含む大規模建設計画。直接・間接雇用数は8万人(うち建設期間におけるものが15000人)。地中海側には Mediterranean Saida がオープンしたが、同計画によって地中海のリゾート産業を強化する。

⑤セメント生産主要企業の2009年業績⁷

シェア第1位の Lafarge Ciments Maroc 社は2009年の売上高は前年比10.7%増の54億4100万DHで、利益については18億6100万DHと前年比で10.4%増加。マーケットシェアは41%と、前年の40.6%からやや拡大したと発表。シェア第2位 Ciments du Maroc 社の2009年の売上高は前年比4.4%増の28.04億DHと発表。利益については11.75億DHと前年比で34.6%増加。セメント生産は、2010年も社会住宅建設で好調が見込まれる。

⑥ロジスティックセクター強化のための官民共同プログラム⁸

20日、モロッコ政府とモロッコ企業連合(CGEM)は、ロジスティックセクター強化のためのプログラム契約に署名。2030年までの予算総額は1160億DH、うち630億DHが2010年から2015年のために充当。2015年までに3万6000人、2030年までには9万6000人の雇用を創出する予定。ストックゾーンは18都市にわたり70カ所予定されており総面積は3300ヘクタール、うち2080ヘクタールは2015年までに整備される予定。

本プログラムにより、以下5種のロジスティックプラットフォームが整備される。(1)大都市におけるコンテナ集積場(カサブランカ、タンジェ、マラケシュ、フェズ・メクネス、ウジュダーナドール)、(2)コンテナ集積場近郊に位置する配送、下請け業者等の基地(13都市)、(3)農産物をストックし商

⁵ アラブ・マグリブ通信(4月23日)

⁶ エコノミスト(4月19日)

⁷ オジドゥイ・ル・マロク、エコノマップ(4月14日)、エコノマップ(4月20日)

⁸ エコノミスト(4月22日)

品として出荷するプラットフォーム(14地方)、(4)穀類倉庫(13都市)、(5)建築材料のストック倉庫(17都市)。

また、ロジスティック開発庁(AMDL:l'Agence Marocaine de développement de la logisticque)も創設される予定。

3. 農業・漁業

①2010年の水害規模⁹

6日、アフスッシュ農業・漁業大臣は今年の豪雨での被害面積は16万8000ヘクタールで、そのうちの13万5000ヘクタールがモロッコ北部の Gharb 地方におけるものであったと発表。被害内訳は穀物(88, 700ha)、砂糖大根(6, 350ha)、豆類(1, 960ha)、飼料用草(18, 600ha)、野菜(4, 100ha)、果樹(6, 200ha)、非耕作面積(42. 90ha)。家畜1371頭と10万8500羽の鶏が死亡。ミツバチの巣箱4025個が損害を受けた。

②水害緊急対策¹⁰

水害緊急対策のため16. 7億DHを充当することが決定した。道路、橋、家屋などの補修工事、農業関連では灌漑施設の補修工事、家畜用予防接種、代替作物への転換、また予防策として、テント、毛布などのストック、気象警報システムの改善などに充当される。ダム建設などは別予算。

③2009～2010年収穫予測¹¹

アフスッシュ農業・漁業大臣は、収穫予測値について耕地面積の75%は良好、22%が標準、3%が標準以下と発表。また同大臣は、第三回農業国家会合において2010年の穀物収穫高は800万トンでダム貯水率は93%になる見込みと発表。

④特定地域における貝の採取・売買を禁止¹²

テトゥアンの Fnideq で養殖されているムール貝から有害物質が検出されたのに伴い、同地域で養殖されたムール貝の売買を禁止。

⑤タコ禁漁¹³

タコ資源保全のため4月20日から最低2ヶ月の禁漁。

⁹ エコノマップ(4月8日)

¹⁰ エコノマップ(4月9日)

¹¹ エコノマップ(4月8日)、オピニオン(4月28日)

¹² エコノマップ(4月2日)

¹³ オピニオン(4月21日)

4. 産業・エネルギー

①第一回国家産業会合の開催¹⁴

7日、カサブランにおいて第一回国家産業会合が開催され、産業振興のためのプログラム2009～2015年(PNEI :Pacte National pour l'Emergence Industrielle)の再確認などが行われた。

モロッコが世界の中で比較優位性を有する分野(通称 MMM: Métiers Mondiaux du Maroc)である、外国投資誘致分野の(1)オフショアリング、(2)自動車部品、(3)航空部品、(4)電子部品と、国内伝統産業の(1)農産加工品、(2)繊維、(3)皮革製品分野を強化することを再確認した。

②輸出コンソーシアム設立に向けたホームページの開設¹⁵

中小企業輸出促進のための輸出コンソーシアムの設立に向けて、モロッコ輸出業者協会(ASMEX)がホームページを開設した。国際見本市の情報、コンソーシアムへの参画方法などが閲覧できるようになっている。ホームページはwww.morococonsortium.com

③太陽エネルギー分野の専門教育課程¹⁶

今年の新学期(2010年秋)から、職業訓練・雇用促進庁(OFPPT)により新設される予定。それに備え教官をドイツへ派遣して専門知識の深化を図る予定。

④アラブ諸国間オープンスカイ協定にモロッコ加入¹⁷

20日、衆議院は2004年12月にダマスカスで締結されたアラブ諸国間のオープンスカイ協定へのモロッコ加入を可決した。

5. その他

①ラバトが地球の日(アースデー)イベントを開催¹⁸

毎年4月22日は地球の日で今年で40周年を迎えるが、Earth Day Network は40周年記念イベント開催都市としてラバト、東京、コルカタ、ブエノスアイレス、ワシントンDC、ニューヨークを選定。ラバトは17日から24日まで関連イベントを開催し、市民参加の環境保全キャンペーンを行った。

②夏時間導入期間決定¹⁹

5月2日から8月7日までの98日間(5月1日0時に1時間進め、日本との時差は-8時間となる)。主要交易国との時差短縮と、需要電力の節約も狙う。2009年は80MWの節約に繋がった。

¹⁴ エコノマップ(4月7日)、エコノミスト(4月8日)

¹⁵ エコノマップ(4月19日)

¹⁶ エコノミスト(4月7日)

¹⁷ エコノマップ(4月22日)

¹⁸ www.earthday.org、アラブ・マグレブ通信(4月22日)、イベントプログラム

¹⁹ エコノミスト(4月13日)、モロッコ公共部門近代化省発表。

II. 諸外国等との関係

1. 外国政府との関係

①モロッコ・フランス エネルギー分野の協力協定に署名²⁰

22日、ベンハドラ エネルギー・鉱山・水利・環境大臣らは、モロッコ訪問中のフランスのボルロー エコロジー・エネルギー・持続可能開発・海洋大臣らとの間で、再生可能エネルギー分野における以下三つの合意に署名。

- (1) タンジェ地方のCh'rafat を省エネルギーのモデル都市として建設する計画に対し、その研究費等のため52万1158ユーロを、省エネルギー建築のため90万ユーロを無償援助
- (2) 再生可能エネルギー、省エネルギー、クリーンテクノロジーの各分野における協力関係強化
- (3) 地方総合電化計画(PERG)最終期(第5期)(メクネス、イフラン、アル・ジャジーダ、エルラシディア等8地方が対象)に対し、3000万ユーロの借款

②第1回5+5気候変動対策会議への参加(於:アルジェリア・オラン)²¹

通称5+5の10カ国からエネルギー大臣らが一同に会し、第1回気候変動対策会議が開催された。気候変動における地中海周辺への影響が懸念され、周辺諸国による調和の取れた取り組みが必要だとし、「オラン宣言」が採択された。モロッコからはベンハドラ エネルギー・鉱山・水利・環境大臣が参加。会合マージンでは、各国閣僚と会談し、再生可能エネルギー等に関して話し合った。10カ国とは地中海北部5カ国(仏、スペイン、伊、マルタ、ポルトガル)と南部5カ国(アルジェリア、リビア、モロッコ、チュニジア、モーリタニア)。

③核セキュリティサミットへの参加(於:アメリカ・ワシントン)²²

エル・ファシ首相、ファシ・フィフリ外務・協力大臣、ベンハドラ エネルギー・鉱山・水利・環境大臣らからなる代表団が参加。エル・ファシ首相は、会合マージンにおいて、インドのマンモハン・シン首相、ベトナムのグエン・タン・ズン首相らと会談した。

④アフヌッシュ農業・漁業大臣の日本訪問²³

同大臣は赤松農林水産大臣、山東参議院副議長、吉良外務大臣政務官、町田水産庁長官をはじめ各界の要人と会見し、日モ間の農業漁業分野での協力関係を確認。また、同大臣から、モロッコにおける農業近代化計画「Plan Maroc Vert」等の取り組みを紹介。

⑤エストニア共和国首相の公式訪問²⁴

²⁰ エコノマップ(4月26日)

²¹ マグレブ・アラブ通信(4月26日)

²² マグレブ・アラブ通信(4月12日)、エコノミスト(4月14日)

²³ エコノマップ(4月2日)

27日、エル・ファシ首相はエストニア共和国のアンシブ首相と会談。両国間の経済関係を中心に意見交換。また、同首相をヘッドとする代表団は、ベンハドラ エネルギー・鉱山・水利・環境大臣、シャミ商工業・新技術大臣、マアズズ貿易大臣らとも会談を行った。

2. 外国企業との関係

①ベンハドラ エネルギー・鉱山・水利・環境大臣が韓国企業関係者と面談²⁵

ワルザザート等における太陽エネルギー発電計画について、韓国側は発電所設計・企画、人材育成、技術研究、モロッコの産業化等のために韓国も協力したいと表明。ベンハドラ大臣は韓国企業関係者にモロッコ電力公社(ONE), モロッコ太陽エネルギー庁(MASEN), 再生可能エネルギー開発・エネルギー効率化庁について知ってもらいたい良い機会になったと言及。

②マラケッシュに大規模ショッピングモールがオープン²⁶

2日、シャミ商工業・新技術大臣、マラケッシュ地方知事が出席し、仏系大手スーパーCarrefour や米系 Virgin Megastore などを含むマラケッシュ最大級ショッピングモール Almazar がオープンした。モロッコ企業2社とフランス企業1社のジョイントベンチャーにより実現。5階建て(うち3階は販売店、2階は駐車場)で、1200台の駐車スペースを有す。売り場面積は4万㎡。投資総額は5億DH、1000人の直接雇用と2500人の間接雇用を創出。

③ラバトのソフィテルホテル正式オープン²⁷

14日、仏系 Accor グループのソフィテルホテル(Sofitel Rabat Jardins des Roses)がラバトに正式オープンした(前ヒルトンホテル)。部屋数229を有す五つ星高級ホテル。同グループはこれまで、モロッコにおいて25の高級ホテルを建設した。

④仏系Alstom社とモロッコ系Nareva Holding社による風力発電所²⁸

Alstom 社とONA子会社 Nareva Holding 社が Akhfenir において風力発電所を建設することで合意した。Alstom 社の製品である「Alstom ECO74」が61基が設置される予定で、発電キャパシティーは100MW。稼働時期は2011年で、電力は民間企業向け。

⑤プラネットファイナンスの再生可能エネルギー普及計画²⁹

²⁴ エコノマップ(4月28日)

²⁵ エコノマップ、ル・マタン(4月19日)

²⁶ エコノマップ(4月5日)、エコノミスト(4月6日)

²⁷ エコノマップ(4月15日)

²⁸ エコノミスト(4月16日)

²⁹ エコノマップ(4月19日)

貧困・低所得者向け小規模金融を推進する団体プラネットファイナンスが、モロッコとエジプトにおける省エネルギー、再生可能エネルギー普及のための3年計画(FREEME)を開始。予算総額は135万ユーロで、うち75%はEUが出資。

⑥再生可能エネルギー分野についてのモロッコドイツ経済関係者協議³⁰

ラバト商工会議所の主催で、モロッコドイツ経済関係者の協議が開催され、特に再生可能エネルギー分野における投資促進について検討。この分野における、ドイツ投資家によるモロッコへの投資対象候補について評価検討。

⑦Inter Coucina社の工場建設³¹

モロッコ・スペイン合弁会社 Inter Coucina 社が、ナドールに敷地面積 7000m²の厨房設備製造工場を建設予定。同社は3年後には家具、扉の製造も目指す。投資総額4億1千万DH。

3. 経済協力

①国立漁業研究所(INRH)の開所式(於:カサブランカ)³²

4日、モハメド6世国王らが臨席のもと、開所式が行われた。本研究所は、水産資源、養殖、品質管理、海洋衛生等の研究を目的としており、敷地面積8000m²、建築面積2250m²。今回の移転新築は同研究所(200万DH)とJICA(700万DH)の協力によって実現された。

②フランス開発庁(AFD)による借款等³³

ウジダ電気水道公社へ上水道整備計画のため1000万ユーロの借款。また、モロッコ漁業公社(ONP: Office National de Pêche)へ2700万ユーロの借款と100万ユーロの無償援助。

③スペインによる借款³⁴

モロッコ鉄道公社(ONCF: Office National des Chemins de Fer)の運行システムIT化のため420万ユーロの借款。

³⁰ エコノマップ(4月14日)

³¹ エコノミスト(4月22日)

³² エコノマップ(4月12日)

³³ エコノマップ(4月19日)

³⁴ エコノマップ(4月26日)